

USD/JPY

■基本データ

(株)チャートリーディング 井上 義教

[四本値]

※黄色:週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/10/19(金)	112.18	112.65	112.14	112.54
18/10/22(月)	112.50	112.88	112.35	112.80
18/10/23(火)	112.80	112.84	111.96	112.43
18/10/24(水)	112.41	112.74	112.09	112.22
18/10/25(木)	112.17	112.67	111.82	112.44
18/10/26(金)	112.41	112.44	111.38	111.89
前週末比	0.23	-0.20	-0.77	-0.66

[高値・安値]

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	112.88	114.55	114.55
安値	111.38	111.38	109.77

[移動平均]

	5日	20日	75日
18/10/19(金)	112.28	112.98	111.84
18/10/26(金)	112.35	112.79	111.88
前週末比	0.07	-0.19	0.04

■テクニカル指標

[MACD]

	MACD	Signal
18/10/19(金)	0.03	0.21
18/10/26(金)	-0.05	0.03
前週末比	-0.09	-0.18

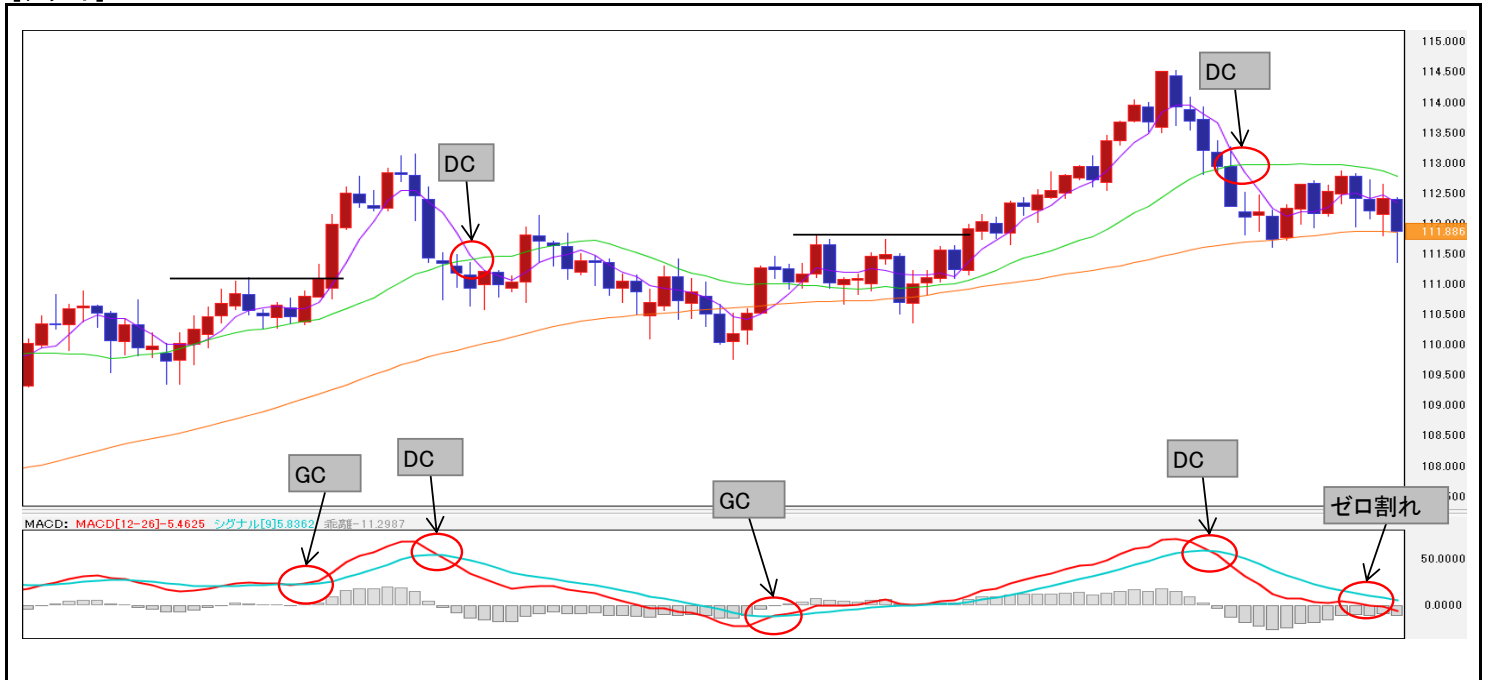
[ストキャスティクス]

	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)
18/10/19(金)	52	27	17
18/10/26(金)	34	56	50
前週末比	-18	29	33

[ボリンジャーバンド]

	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/10/19(金)	114.46	111.51	2.95
18/10/26(金)	114.33	111.26	3.07
前週末比	-0.13	-0.25	0.12

[チャート]



■チャートコメント

- 先週は、月曜日に高値を付け、金曜日に安値を付ける展開でした。週末まで、上へ行けば上かな、下へ行けば下かな(でも、どちらかと言うと下かな)、という動きでしたが、最終的に金曜日に下値を試す展開となりました。下ヒゲを伴ってやや戻しての越週となっていますが、買い方の傷は小さくなく、下値模索の動きが続く可能性が高まっています。中期の移動平均線も下向きに舵取りを変えてきている点は要注意で、じりじりと安値をトライする動きが見られているうちは、とても買えないという判断でよいでしょう。
- 移動平均線は、中期がやや下落しました。3本の移動平均線が全体的に大きな動きを見せていないのは、もちろんドルと円のバランスがある程度取れていたからという解釈でよいと思いますが、久しぶりに実体線が長期の移動平均線水準で引けたことを考えると、今後も下落リスクを伴う動きが継続すると考えるのが妥当だと思います。
- MACDは、MACD線・シグナル線ともに下落しました。MACD線はゼロライン割れを実現して売りシグナル点灯、中期的な円安傾向もこれで終焉を迎えたという点をMACDが示してくれています。ただ、全体としてニュートラルな場所に戻ってきただけですので、このMACDを見て弱気に傾けるとか、そういう印象は受けません。
- 今週は、売り先行で臨みたいところです。先週金曜日の陰線を上回って安定推移するようであれば別ですが、逆に先週金曜日の下ヒゲを攻めるような相場が見られたら、そこは短期的にも売り先行で攻めてよいポイントだと思います。もちろん、先週金曜日の安値を下回って引けるようなことがあれば、それは下落トレンド入りの重要なシグナルとなります。買い方の傷が浅いうちに戻ればよいのですが、揉み合い症状の期間が長くなればなるほど、その後のトレンドも大きくなる点は忘れないようにしたいところです。

情報提供元: (株)チャートリーディング

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

【PR】無料オンラインセミナー「チャートリーディングで相場を読む」(講師 井上義教) 申込受付中

【四本値】

※黄色:週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/10/19(金)	128.46	129.68	128.44	129.61
18/10/22(月)	129.54	130.20	129.20	129.31
18/10/23(火)	129.31	129.38	128.21	128.96
18/10/24(水)	128.94	129.22	127.77	127.84
18/10/25(木)	127.79	128.44	127.50	127.87
18/10/26(金)	127.83	127.88	126.64	127.58
前週末比	-0.63	-1.80	-1.81	-2.03

【高値・安値】

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	130.20	132.46	133.13
安値	126.64	126.64	124.90

【移動平均】

	5日	20日	75日
18/10/19(金)	129.41	130.73	129.80
18/10/26(金)	128.31	129.72	129.63
前週末比	-1.09	-1.01	-0.17

■テクニカル指標

【MACD】

	MACD	Signal
18/10/19(金)	-0.31	-0.08
18/10/26(金)	-0.65	-0.38
前週末比	-0.34	-0.29

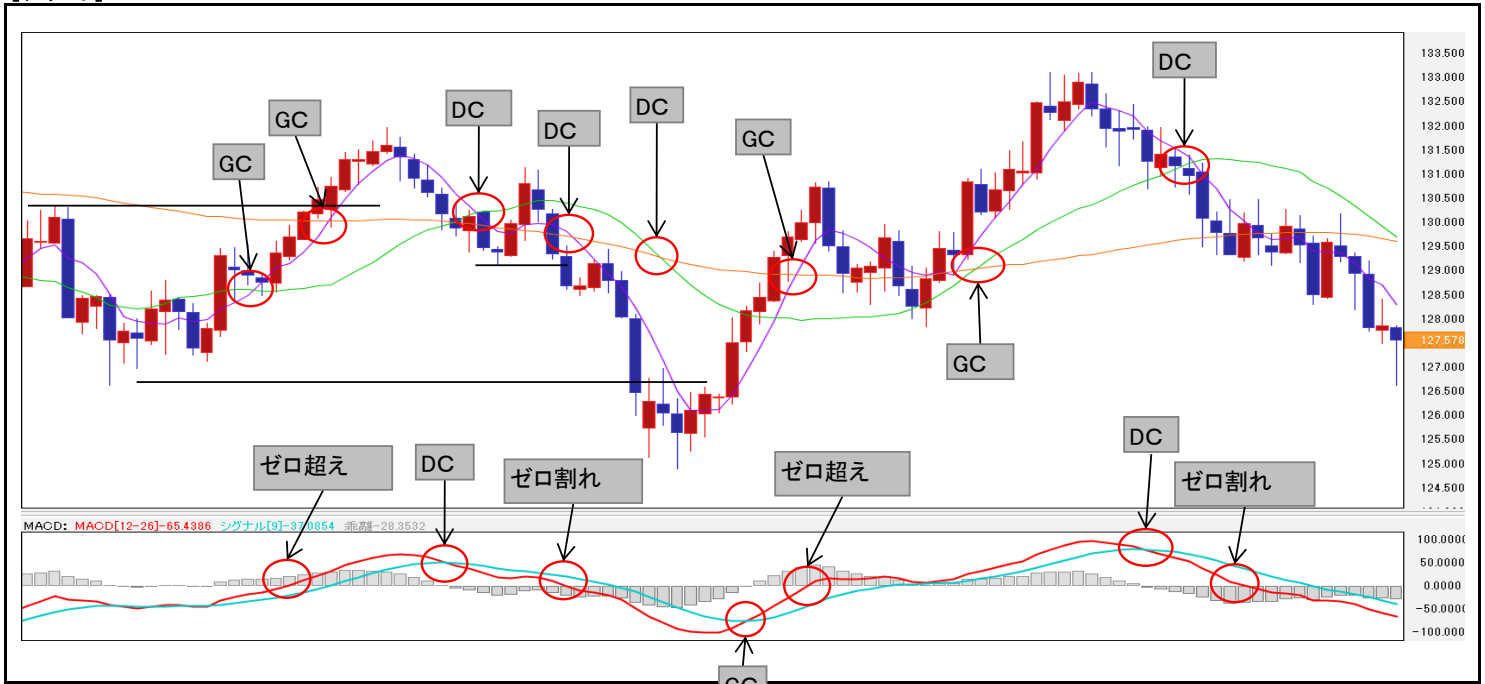
【ストキャスティクス】

	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)
18/10/19(金)	59	24	18
18/10/26(金)	26	23	28
前週末比	-33	-1	10

【ボリンジャーバンド】

	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/10/19(金)	133.21	128.24	4.97
18/10/26(金)	132.10	127.34	4.76
前週末比	-1.11	-0.90	-0.21

【チャート】



■チャートコメント

- (1)先週は、月曜日に高値を付け、金曜日に安値を付ける展開でした。月曜日に「最後の上げ」が出現した後は下落モード入り、特に水曜日の下落が買い方にとっては厳しく、週末にかけて大きな下落を実現しました。売りで積極的に攻めた方にとっては、「大チャンス」となりましたね。また、こうした相場で踏ん張ってリスクを大きく、長く取ることが収益の極大化には重要という点は覚えておく必要があると思います。
- (2)移動平均線は、3本とも下落しました。実体線が短期・長期の移動平均線の下側で推移、実体線が直近の安値を切った水曜日以降は、買い方の投げを誘発する相場ですので、下落トレンドに入ったという判断でよいでしょう。また、中期の移動平均線が遅れていましたが、急速に下落の勢いを増してきており、長期の移動平均線を下回る可能性が極めて高くなっていますね。
- (3)MACDは、MACD線・シグナル線ともに下落しました。MACD線・シグナル線ともにゼロライン割れを実現した後の下落ということで、実体線の下落を後押しする材料となっています。ダイバージェンスの形成の可能性は低く、ただただと下落を続けるかもしれないという点を示唆しているようです。
- (4)今週は、どちらかと言うと売り先行で臨みたいところ。「どちらかと言うと」と形容詞を付けたのは、もちろん、金曜日の下げの長さが気になるからです。このまま素直に大きく戻るシナリオは想定しにくいところではありますが、「買い方が投げた(投げ切っではないもの)」という印象を与えるチャート形成になっています。先週後半のような、売り持ちのポジションがあれば自然に下落するというほど、簡単な相場にはならないでしょう。考え方としては、「売られている局面を追いかけて短期勝負」という感じでしょうか。

情報提供元: (株)チャートリーディング
 本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様が生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

[四本値]

※黄色: 週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/10/19(金)	146.07	147.32	145.98	147.06
18/10/22(月)	147.02	147.57	146.05	146.24
18/10/23(火)	146.24	146.40	145.29	145.97
18/10/24(水)	145.91	146.30	144.43	144.53
18/10/25(木)	144.48	145.04	144.05	144.10
18/10/26(金)	144.08	144.16	142.78	143.54
前週末比	-2.00	-3.17	-3.20	-3.52

[高値・安値]

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	147.57	149.51	149.72
安値	142.78	142.78	139.89

[移動平均]

	5日	20日	75日
18/10/19(金)	147.18	148.01	145.76
18/10/26(金)	144.88	147.14	145.55
前週末比	-2.30	-0.87	-0.20

■テクニカル指標

[MACD]

	MACD	Signal
18/10/19(金)	0.24	0.62
18/10/26(金)	-0.59	0.06
前週末比	-0.83	-0.56

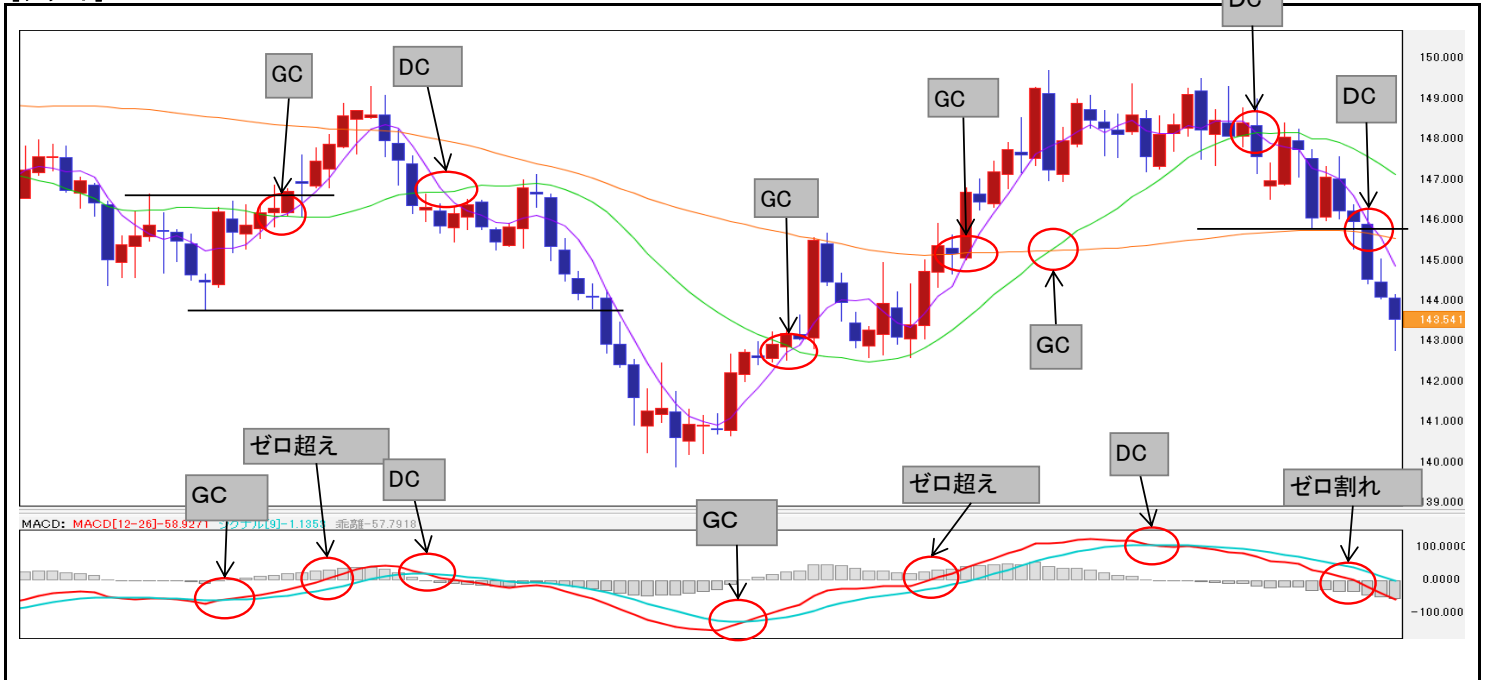
[ストキャスティクス]

	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)
18/10/19(金)	36	29	32
18/10/26(金)	14	9	17
前週末比	-22	-20	-15

[ボリンジャーバンド]

	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/10/19(金)	149.38	146.63	2.75
18/10/26(金)	150.24	144.05	6.19
前週末比	0.86	-2.58	3.44

[チャート]



■チャートコメント

- (1)先週は、月曜日に高値を付け、金曜日に安値を付ける展開でした。ユーロ円を圧倒的に上回る勢いで下落が続けたというチャート形成になっています。特に、ユーロ円が下ヒゲで戻した火曜日において、ポンド円は既に終値ベースでの安値を更新しており、下落を強く示唆する形状を醸し出し、水曜日以降は買い方がひたすら投げ続けたという印象を与えるチャートとなってしまいました。こうした形状になってしまうと、もはや買いたとか、そういうことを言える状況からは遠くなってしまいますね。
- (2)移動平均線は、3本とも下落しました。短期の移動平均線は実体線の急落を受けて鋭く下落、中期の移動平均線も大慌てで下落傾向を示してきています。長期の移動平均線は相変わらずほとんど動いていませんが、実体線が長期の移動平均線を下回った水曜日が相場の大きな転機になっている点もチャートリーディングの重要性を示していると言えそうですね。
- (3)MACDは、MACD線・シグナル線ともに大きく下落しました。MACD線は鋭くゼロラインを割り込み売りシグナル点灯、実体線の下落を後押しする材料として十分な役割を果たしています。また、MACDがゼロラインを割り込んだことで、趨勢的にも下落基調入りを果たしたと言えそうです。
- (4)今週は、リスクを取るのであれば売り先行で臨みたいところです。チャート全体として買いを示すものは全くありませんし、ポンドの価値そのものが毀損していく端緒を示している可能性もあるからです。買い方の傷はあまりにも大きく、先週の下落で投げ切ったようには全く見えませんので、そういった意味でも売り先行で臨むべきと考えます。ただし、ボリンジャーバンドの幅が大きく広がっていることから分かるように、ボラティリティの高まりは否定できませんので、損切りはしっかりと執行する必要があると言えるでしょう。

情報提供元: (株)チャートリーディング
 本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様が生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

【PR】無料オンラインセミナー「チャートリーディングで相場を読む」(講師 井上義教) 申込受付中

AUD/JPY

■基本データ

(株)チャートリーディング 井上 義教

[四本値]

※黄色:週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/10/19(金)	79.57	80.49	79.56	80.14
18/10/22(月)	80.12	80.32	79.64	79.87
18/10/23(火)	79.86	79.90	79.04	79.67
18/10/24(水)	79.64	80.03	79.16	79.24
18/10/25(木)	79.15	79.81	78.99	79.59
18/10/26(金)	79.56	79.59	78.56	79.34
前週末比	-0.02	-0.89	-1.00	-0.80

[高値・安値]

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	80.32	82.48	83.93
安値	78.56	78.56	78.56

[移動平均]

	5日	20日	75日
18/10/19(金)	79.95	80.73	81.30
18/10/26(金)	79.54	80.15	81.07
前週末比	-0.41	-0.58	-0.23

■テクニカル指標

[MACD]

	MACD	Signal
18/10/19(金)	-0.32	-0.28
18/10/26(金)	-0.39	-0.34
前週末比	-0.07	-0.06

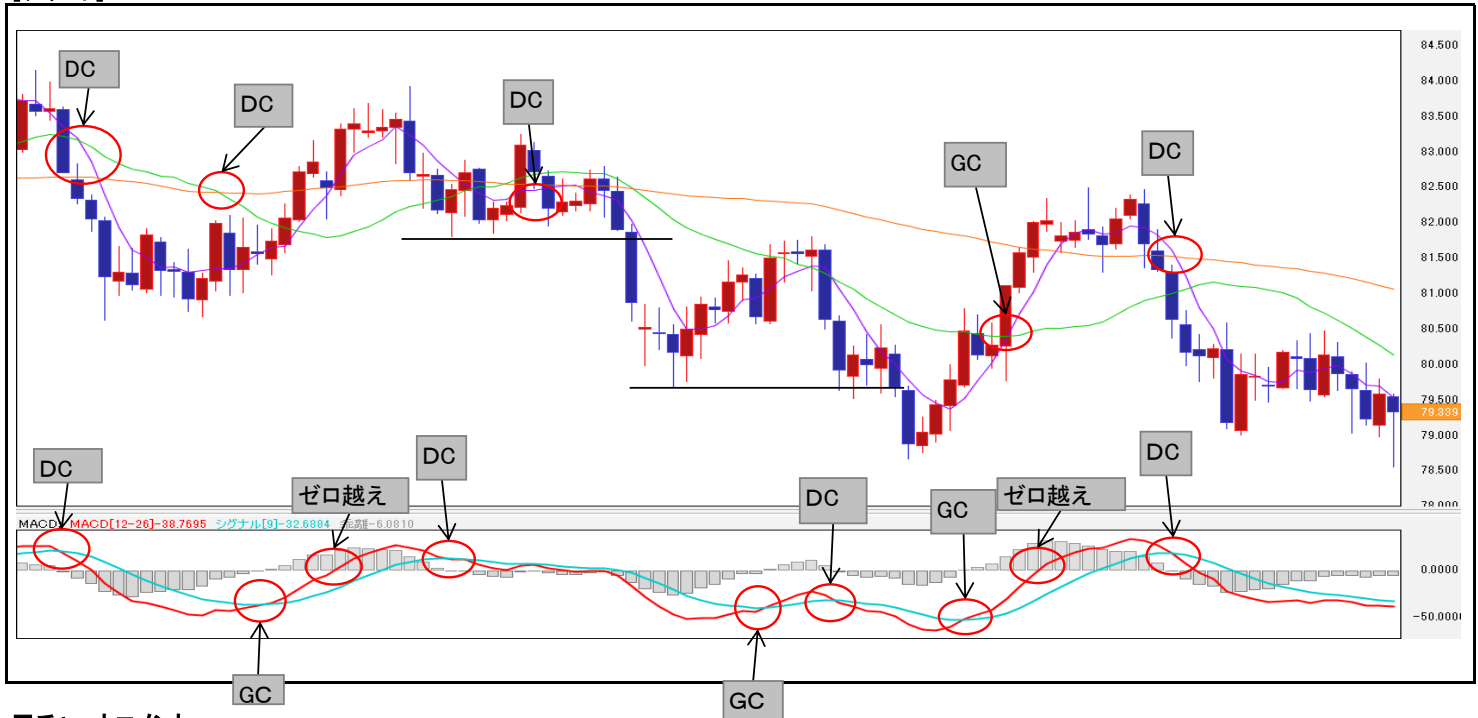
[ストキャスティクス]

	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)
18/10/19(金)	71	46	31
18/10/26(金)	40	39	48
前週末比	-31	-7	17

[ボリンジャーバンド]

	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/10/19(金)	82.65	78.80	3.85
18/10/26(金)	81.73	78.56	3.17
前週末比	-0.92	-0.24	-0.68

[チャート]



■チャートコメント

- (1)先週は、月曜日に高値を付け、金曜日に安値を付ける展開でした。円高方向へ動いたのは、他の対円の通貨ペアと共通ですが、金曜日の長い下ヒゲの出現と、その戻りの位置がだいぶ異なります。これまでの揉み合いゾーンに戻して引けたことで、異常な底堅さを演じるとともに、時間の経過があれば上値を追う可能性も見て取れるチャート形成となっています。もちろん、実体線と移動平均線の関係を見ると、強気に転じるような状況ではありませんが、対円の通貨ペアの中で、先導して戻す可能性は若干感じるところではあります。
- (2)移動平均線は、3本とも下落しました。実体線が3本の移動平均線の下側に位置していますので、下落トレンドは下落トレンドという感じですが、先週金曜日に実体線が戻して引けたことで、短期の移動平均線を実体線が上回る可能性もなくなるはない状況です。先週金曜日の下ヒゲがアクセントになれば、という感じでしょうか。
- (3)MACDは、MACD線・シグナル線ともに微妙に下落しました。ゼロラインの下側での推移となっていますので、これも当然、買いを示すものではありませんが、若干の下げ渋りを見せる可能性を感じさせる状況となっています。実体線が戻せばMACDも反転の可能性が高く、そういう意味では少し注意が必要と言えそうです。
- (4)今週は、少し様子を見たい印象です。もちろん、チャートは良くありませんので、リスクテイクの方針としては売りということになりますが、オージー円を売るくらいであれば、他の対円の通貨ペアの方が圧倒的に高いパフォーマンスが得られると思われます。そうすると、下方向については見送りということになりますが、そもそもチャートが買えるものではありませんので、買いも見送りという感じになりますね。先週高値を越えてくるような状況になれば話は別ですが、さすがに、こまでの戻りを期待するのは、少し酷な感じがします。

情報提供元：(株)チャートリーディング

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

【PR】無料オンラインセミナー「チャートリーディングで相場を読む」(講師 井上義教) 申込受付中

EUR/USD

■基本データ

(株)チャートリーディング 井上 義教

[四本値]

※黄色:週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/10/19(金)	1.1451	1.1534	1.1433	1.1516
18/10/22(月)	1.1511	1.1550	1.1456	1.1464
18/10/23(火)	1.1464	1.1493	1.1439	1.1470
18/10/24(水)	1.1470	1.1476	1.1379	1.1392
18/10/25(木)	1.1393	1.1433	1.1356	1.1373
18/10/26(金)	1.1372	1.1421	1.1336	1.1402
前週末比	-0.0079	-0.0114	-0.0097	-0.0114

[高値・安値]

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	1.1550	1.1623	1.1815
安値	1.1336	1.1336	1.1301

[移動平均]

	5日	20日	75日
18/10/19(金)	1.1525	1.1570	1.1606
18/10/26(金)	1.1420	1.1501	1.1587
前週末比	-0.0104	-0.0070	-0.0019

■テクニカル指標

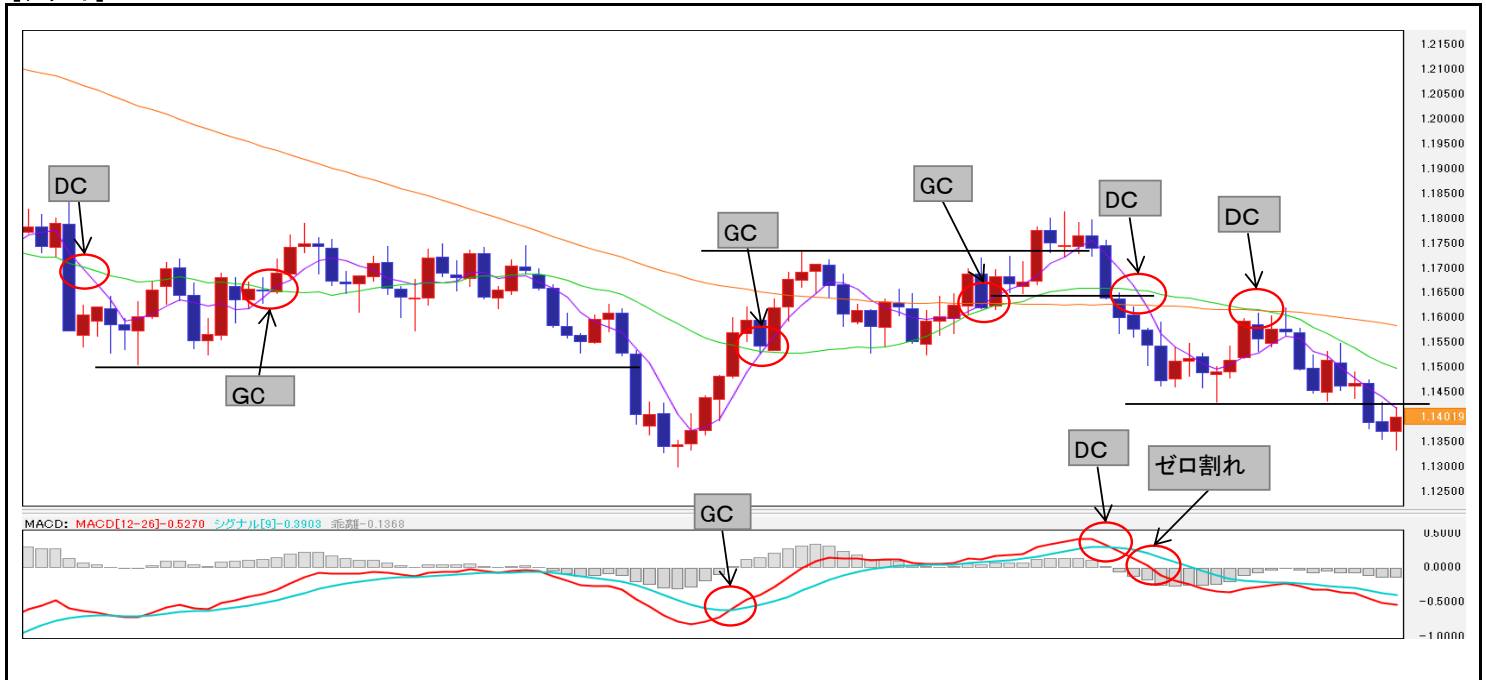
[MACD]

[ストキャスティクス]

[ボリンジャーバンド]

	MACD	Signal	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/10/19(金)	-0.0031	-0.0029	44	50	59	1.1747	1.1393	0.0354
18/10/26(金)	-0.0053	-0.0036	23	14	23	1.1624	1.1377	0.0247
前週末比	-0.0022	-0.0007	-21	-36	-36	-0.0123	-0.0016	-0.0107

[チャート]



■チャートコメント

- (1)先週は、月曜日に高値を付け、金曜日に安値を付ける展開でした。水曜日に重要なサポートラインを下回ったことで、週末にかけて買い方の投げが持ち込まれた「痕」が、チャート上に残っていますね。ずっと小さな値動きが続いてきただけに、そこそこ大きな下落に見舞われた感じもししくはありませんが、ボラティリティはそれほど高まっているわけではなく、しっかり買い戻しておかないと持ち上げられて対処に困ってしまう相場と言えるかもしれません。
- (2)移動平均線は、3本とも下落しました。引き続き3本の移動平均線が扇形に開きつつありますので、下落トレンド継続中という判断でよいでしょう。ただ、先週金曜日に下ヒゲ陽線が出現したことで、早くも「戻るかも」という印象を与えるチャート形成になっている点は注意が必要です。
- (3)MACDは、MACD線・シグナル線ともに下落しました。ゼロラインの下側での下落ということで、素直に下落トレンドを追認するチャートと考えてよいでしょう。ただし、その下落のペースはあまり鋭さを感じさせるものではなく、それは、ここからの大きな下落の可能性を少し否定しているのかもしれない。
- (4)今週は、実体線の移動平均線に対する位置があまりにも悪いことから、戻るのであれば見送り、先週金曜日の下ヒゲを攻めるのであれば売り先行で臨みたいところです。ボリンジャーバンドの幅が狭くなっていることから分かるように、全体的なボラティリティの高まりを伴っているわけではありませので、いったん捕まると買い戻しに苦勞を感じる相場かもしれません。大きなポジションを持って下を一気に狙うというよりも、売られているところをコツコツ売って、細かく買い戻すようなオペレーションが有効かもしれませんね。

情報提供元: (株)チャートリーディング

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様が生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

【PR】無料オンラインセミナー「チャートリーディングで相場を読む」(講師 井上義教) 申込受付中